

三宅島特産園芸作物における生産振興技術対策

【研究概要】

三宅管内で生産される主要品目のパッションフルーツの垣根栽培について、樹の受光体勢を改善させる栽培条件を検討した結果、昨年明らかにした栽培条件（植栽密度が株間2 mかつ列間隔1.2mで、樹あたり結果枝本数が36本）に加えて、植栽密度が株間2 mかつ列間隔1.5mで、樹あたり結果枝本数が36本または26本とする条件についても、慣行の平棚栽培と同等以上の収益性が確保可能である。

収益性および作業性を考慮すると、パッションフルーツの垣根栽培は、植栽密度が株間2 mかつ列間隔1.5mで、樹あたり結果枝本数が26本の栽培条件が最も評価できる。